

**Mats Wejdmark マツ・ウェイドマルク
ニーネスハムン (Nynäshamn) 自然学校**

- 主任と教員
- 野外環境教師
- 野外教育指導書の著者

マツさんは1988年にニーネスハムン自然学校を設立し、当初からその責任者および野外教師として働いている。ニーネスハムン自然学校の基礎となる事業を作り上げた。その基礎事業というのは、通常教育の一環として一年に一回、ニーネスハムン自治体全域にある学校の生徒たちがクラス単位で、自然学校の授業を受けるというものである。自然保護や環境問題に対する熱意をもち、長年活動している中で、自治体内の幅広い社会的ネットワークを築いてきた。このようなネットワークは、自然学校が取り組む持続可能な発展のための様々なプロジェクトの重要な要素となっている。自然学校はプロジェクトを実施する時、下水処理の担当部局、環境・社会計画部局、不動産部局など、ニーネスハムン自治体のいろいろな事業や部局と協力している。マツさんは、学校と幼稚園だけではなく、同時に自治体の一般市民も対象にする様々なプロジェクトとキャンペーンの「エンジン」として活動している。

1997年に始まった「まず野外、その後IT」というプロジェクトはその事例の一つで、協力相手だった学校は、これを通常の教育内容に組み込むようになった。同プロジェクトは、より豊かな生物多様性のための自然保全活動と野外教育をIT（情報通信技術）と組み合わせることが狙いで、マツさんは最初からその中心的な役割を果たしてきた。授業に使われる場所は牧草地だった土地であり、教師と生徒と一緒に、県行政が策定した管理計画に基づき、その土地を1950年代の生物多様性の豊かな状態に戻す取り組みをしている。その牧草地は現在いくつかの科目の野外教室として使われている。

「野外で学ぶ」というシリーズの本づくりに参加した結果、ニーネスハムン自然学校はニーネスハムン自治体以外からも、多くの教育事業を依頼されることになった。マツさんは何度も外国を訪問し、本で説明されている野外教育の手法を外国の方々に実践してもらう指導を行っている。マツさんはフィンランド、エストニア、リトアニア、スロベニアで野外教育の指導を行った経験がある。

マツさんは中学校教員を数年間経験しており、自然学校協会の理事も数年勤めたことがある。現在は自然学校協会の代表としてUtenavet (ウーテナーヴェット / 「野外の要」) という全国ネットワークに参加している。同ネットワークの主な目的は大学の教員養成プログラムに野外教育の部分を導入することにより、学校制度全般に普及させることである。

ニーネスハムン自然学校の概要

- ・ 首都ストックホルム市から50km南部のニーネスハムン市に位置している。
- ・ 6歳から16歳までの生徒をニーネスハムン自治体全域の学校から受け入れている。
- ・ それぞれの学年にそれぞれのテーマがある。
- ・ 学校と幼稚園の教諭を対象に野外環境教育の研修を行っている。
- ・ プロジェクトやネットワークのかたちでESD（持続可能な発展のための教育）に取り組んでいる。
- ・ 野外環境教育の指導書を作っている。
- ・ 詳しくは www.nynashamnsnaturskola.se へどうぞ（英文有り）。

ニーネスハムン自治体はスウェーデンエコ自治体協会（Sekom）に加盟している。

Postadress
Nynäshamns kommun
Naturskolan
149 81 Nynäshamn

Besöks/lev.adress
Storeksvägen
Sjöudden
148 30 Ösmo

Mobil (via växel)
Mats 08 520 73709
Robert 08 520 73708

E-post
mats.wejdmark@naturskolan.pp.se
robert.lattman@naturskolan.pp.se

Hemsida: www.nynashamnsnaturskola.se